

2009年4月8日

報道関係各位

住商情報システム株式会社

**EAIパッケージ「ASTERIA WARP」の  
「SAP® ERPアプリケーション」と連携する  
アダプタ製品を開発、2009年4月より販売を開始**

住商情報システム株式会社（本社：東京都中央区晴海、取締役社長：阿部 康行、以下 SCS）は、SAP ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ギャレット・イルグ、以下 SAP ジャパン）が提供する業務統合アプリケーション「SAP® ERP」とデータ連携を行うためのソリューションとして、インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、以下インフォテリア）が提供する国内 EAI 市場で No. 1※1 のデータ連携ミドルウェア「ASTERIA WARP」のアダプタ製品（以下、「ASTERIA ERP Adapter for SAP®」）を開発し、2009年4月より販売開始することをお知らせします。

下記セミナーにて本製品及びソリューションをご紹介させていただきます。

2009年4月22日（水）・4月28日（火）

「ASTERIA ERP Adapter for SAP®」製品紹介セミナー

[http://www.scs.co.jp/event/2009/0422-28\\_asteria/](http://www.scs.co.jp/event/2009/0422-28_asteria/)

皆様のご参加をお待ちしております。

記

## 1. 概要

SCS は、業務統合アプリケーション「SAP® ERP」が提供する標準インターフェースである BAPI®/RFC※2 に対応した「ASTERIA WARP」のアダプタ製品「ASTERIA ERP Adapter for SAP®」を開発しました。これにより、マルチプロトコル・マルチフォーマット対応の「ASTERIA WARP」を経由して、外部システムと「SAP® ERP」アプリケーションがシームレスに連携することが可能となります。

例えば、メールに添付された Microsoft® Office Excel 帳票（以下、Excel）を「ASTERIA WARP」が受信し、自動的に「SAP® ERP」アプリケーションの伝票を作成するといったことや、「SAP® ERP」アプリケーションから BAPI®/RFC 経由で出力されたデータを PDF に加工し、メールで担当者に配信するなど、様々な連携ソリューションを容易に実現する

ことができ、「ASTERIA WARP」、「SAP® ERP」アプリケーション双方のメリットを最大限に生かすことが可能となります。

## **2. 背景**

SCS は、基幹業務システムとして「SAP® ERP」アプリケーションを導入されているお客様、導入を検討されているお客様から「SAP® ERP」アプリケーションと既存システムを連携したいというご要望を数多くいただいております。一方、SAP ジャパンでは、「SAP® ERP」アプリケーションを中心とし、既存システムを有効活用するエコシステムの推進を提唱しております。

SCS では、お客様独自の既存アプリケーションや Excel、Lotus Notes®などの既存システムの有効活用に「ASTERIA WARP」が有効であると考え、今回の開発に至りました。お客様にとって、SAP ジャパンが提唱するエコシステムを構築する上での強力な選択肢になると考えています。また、「ASTERIA WARP」は、エコシステムの重要なキーワードである SOA※3 にも対応しております。

「ASTERIA ERP Adapter for SAP®」により、お客様はシステム連携ミドルウェアを柔軟に選択することが可能となり、「SAP® ERP」アプリケーションのユーザー様の顧客満足度向上に貢献できると考えております。

## **3. 「ASTERIA ERP Adapter for SAP®」の特長**

### **【GUI の操作性】**

「ASTERIA WARP」の特徴である視認性、操作性の高い GUI 機能を継承しており、マウスのドラッグ&ドロップでの設定が可能となります。これにより、お客様ご自身での導入が可能となります。

### **【迅速なインターフェース構築】**

「SAP® ERP」アプリケーションに対し「ASTERIA WARP」からシームレスにアクセスすることができるため、設定とテスト実行のサイクルを迅速に行えます。「SAP® ERP」アプリケーション上のデータを都度確認しながらの設定が可能となるため、精度が高く効率的なインターフェース構築が可能です。

### **【コスト削減】**

ライセンスコストを「ASTERIA WARP」本体を含め、1,000 万円を切る低価格での提供を実現し、また、高い生産性により構築コストを最小限に抑えることができます。

「SAP® ERP」アプリケーションの導入を検討されているお客様には、より「SAP® ERP」アプリケーションの導入を身近に感じて頂き、また、既に「SAP® ERP」アプリケーションを導入されているお客様には、これまで実現できていなかった「SAP® ERP」アプリケーションとの連携を再度検討する機会をご提供できると考えております。

#### 4. 販売価格

240万円～（1ライセンス/1サーバ 2CPU まで対応）

#### 5. 稼働環境

サポート環境：Windows 2003 Server/2008Server、RedHatLinux

SAP®サポートバージョン：JCo3.0 対応バージョン

#### 6. 販売開始時期

2009年4月より販売を開始します。

#### 7. 目標販売件数

初年度10件を目標としております。

#### 8. エンドースメントのご紹介

本件につきまして、インフォテリア株式会社 代表取締役社長/CEO 平野洋一郎様より、以下のコメントをいただいております。

『インフォテリアは、住商情報システムの「ASTERIA ERP Adapter for SAP」の発表を歓迎いたします。ASTERIA マスターパートナーである住商情報システムは、国内トップクラスのSAPならびにASTERIAの導入実績を数多くお持ちであります。住商情報システムのSAPとASTERIA双方のシステム構築で培ったノウハウをベースに開発された本アダプタが、数多くのSAPユーザー企業にとって連携の自動化を促進し、コストを削減する製品となることを大いに期待しております。』

#### 補足：「ASTERIA WARP」について

「ASTERIA WARP」は、企業内外に散在する多くのシステムを「つなぐ」データ連携ミドルウェアで、現在EAI市場で国内シェアNo.1の製品です。処理内容を組みこんだアイコンを並べ、連結することで数多くのシステムとの連携を行います。各種データベース、Web、多種フォーマット間をはじめとして、ExcelやPDF、メールなど業務上頻繁に使われるツールにも対応しており、様々なシーンで業務効率化とコスト削減を実現させます。

※1 国内シェア No 1 :

「2008年ソフトウェアマーケティング総覧」(テクノシステムリサーチ社)による。

※2 BAPI®/RFC :

BAPI®(Business Application Programming Interface)とは、SAP®アプリケーションが標準提供する機能で、SAP®アプリケーション上の購買依頼や会計伝票処理などの各機能呼び出すための公開インターフェースである。

RFC(Remote Function Call)とは、SAP®アプリケーション間または、SAP®アプリケーションと非SAP®アプリケーション間で、リモート呼出可能な汎用モジュール(SAP®アプリケーション上で利用するライブラリ関数)の呼出を行うインターフェースである。

※3 SOA :

サービス指向アーキテクチャ。業務上の一つの処理に相当するソフトウェア機能をサービスと見立て、そのサービスをネットワーク上で連携させてシステムの全体を構築していく設計手法、アーキテクチャを指す。

## 本件に関するお問い合わせ先

### 【製品に関するお問い合わせ先】

住商情報システム株式会社

I Tエンジニアリング事業部 ミドルウェアソリューション部

TEL 03-5166-1320

E-Mail asteria\_sales@scs.co.jp

### 【報道機関からのお問い合わせ先】

住商情報システム株式会社

広報・IR 部 白田・栗岡

TEL 03-5166-1150

※<SAP商標>は、ドイツおよびその他の国におけるSAP AGの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名、製品名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。